

平成26年度 第2回青森市民図書館協議会 会議概要

- 1 日 時 平成27年3月18日(水) 午後3時～午後4時
- 2 場 所 青森市民図書館8階会議室2
- 3 出席委員 木戸淳子、蝦名理佳、奥崎信人、倉内千恵子、大坂美保、佐藤英子、高橋葉子、蒔苗礼子、秋谷進、清藤正道
- 4 事務局出席職員 館長 渡邊薫、主幹 竹谷圭司、主幹 村上泰子、主幹 木下優、主事 村上純子、主事 田崎鈴
- 5 次第
第1回青森市民図書館協議会
 - (1) 開会
 - (2) 会長あいさつ
 - (3) 副会長の選出
 - (4) 報告事項
 - ・歴史資料室の設置について
 - ・青森市子ども読書活動推進計画について
 - ・特別整理期間の見直しについて
 - (5) 協議事項
 - ・平成27年度の図書館運営について
 - (6) その他
 - (7) 閉会
- 6 会議の概要(発言の要旨)

副会長の選出について

学校教育関係者として就任していただいていた副会長の丸山委員が辞任したため、後任として小学校教育研修会図書館部会の推薦により古川小学校の木戸校長に就任をしていただいた。

副会長不在となったため、選出することとなった。

副会長は委員の互選となっており、協議の結果、副会長には木戸委員が選出された。

○報告事項 ・歴史資料室の設置について資料「4 報告事項(1) 歴史資料室の設置について」に基づき事務局より説明

質疑応答

主な質疑応答は以下のとおり

(委員)

設置する場所はどこか。

(事務局)

現在検討中。図書館内に設置する予定である。

(委員)

専門の知識のある職員が配置されるのか。

(事務局)

はい。

(委員)

刊行物はどのくらい出ていて、どのあたりから始まっているものなのか。

(事務局)

『新青森市史』を刊行しており、全16巻で原始古代から現代(浪岡との合併前)までをまとめている。また、浪岡町史が合併直前に完結している。

○報告事項 ・青森市子ども読書活動推進計画について資料「4 報告事項(2) 青森市子ども読書活動推進計画」に基づき事務局より説明

質疑応答

主な質疑応答は以下のとおり

(委員)

子どもの対象年齢はどこまでになるのか。

(事務局)

子どもの対象年齢は0歳～18歳まで。親や大人も含めた取り組みでもある。

意見

- ・計画の中には年代別に何を重点的にやっていかなければならないか、というのはでてくるのか。
- ・ブックスタートに関して、子ども向けの絵本のほか育児に関する本の貸出も行ってほしい。

○報告事項 ・特別整理期間の見直しについて事務局より説明

意見

- ・学校としても文化祭等の学校行事で忙しくなるため、特別整理期間による休館が10月なのはありがたい。

○協議事項 ・平成27年度の図書館運営について資料「5 協議事項 平成27年度の図書館運営について」に基づき事務局より説明

質疑応答

主な質疑応答は以下のとおり

(委員)

紙芝居について、参加者多数との話があったが、後ろからだと見えづらいことがある。パワーポイント等を使用するなどの拡大した絵本の見せ方について検討などしているか。

(事務局)

寄附等の活用により、プロジェクター等の購入を検討中である。

(委員)

大人向けの朗読会について、詳細が決定しているのか。

(事務局)

詳細については検討中。ここ数年12月に行っているクリスマス朗読会では大人はもちろん、小学校高学年程度でも楽しめるような詩や物語の朗読を実施。来年度としては、これに加え、寺山修司生誕80年に関する朗読会もどうかということも検討中である。

(委員)

委託事業者によるお話し会や講話について、どのような人が行っているのか。

(事務局)

委託事業者の司書職員や民間の団体により行われている。

意見

- ・浪岡中央公民館が新しくなったが、図書室の掲示物の期間が過ぎているものがあった。
- ・読み聞かせ講習会について、学校が休みの期間だと親は参加しづらい。講習会での講義の回数ができるだけ少ないほうが参加しやすい。
- ・プロジェクター等の視聴覚機器を使つての紙芝居・絵本の読み聞かせについては、結果として子どもたちがその絵本等を借りるなどして“本物”に触れることのできるものでないと本来の活動から外れるのではないか。どうしたらたくさんの子供たちに読み聞かせができるかということと、どうしたら効果的に視聴覚機器を導入していけるかということについては、こうした点を課題にして考えたうえで取り入れるべき。

○その他

質疑応答

主な質疑応答は以下のとおり

(委員)

図書館の窓口について、専門の職員はいるのか。

(事務局)

現在、窓口業務は委託しており、司書資格をもつ委託事業者の職員を各フロアに2～3名全時間必置になるように配置している。

意見

- ・調べ物に関しての窓口対応を強化してほしい。

(事務局)

レファレンスサービスの充実について、レファレンスという言葉自体、聞きなれない言葉なので、「調べ物案内」等に言葉を変えるなど、来年度より利用しやすくする予定である。

- ・館内の展示事業について、開館 40 周年・浪岡地区合併 10 周年にあたって具体的に目玉となるものについて何か考えているのか。

(事務局)

具体的に決定していないが、開館 40 周年については、青森市民図書館に思いを馳せることができるようなものにしたいと思っている。

会議終了